

軍備制限問題調書(下卷)

第二編 戰時法規

第一章 總 說

第一節 帝國政府ノ訓令

訓令

帝國政府カ華府全權ニ與ヘタル一般の訓令中本編ニ關係アルモノハ左ノ三點ナリ

一、航空兵力ノ制限ハ徹底ヲ期シ難キモノナリト認ムルモ會議ノ大勢上制限ヲ可ナリトセハ之ニ同意セラレ差支ナシ然レ共帝國航空兵力ノ現勢ハ列強ニ比シ甚シキ逕庭アルコトヲ特ニ考慮スルヲ要ス

二、毒瓦斯ノ使用ニ關シテハ人道上ノ見地ヨリ之ニ反對ス但シ會議ノ大勢之ヲ許ササル場合ニハ適宜ノ措置ヲ執ラレタシ

三、無防禦ノ住民地ニ對スル空中爆撃ニハ反對ヲ主張ス(第一編及第三編政府訓令參照)

尙「ルート」氏提案潛水艦使用規則ニ關シテノ訓令アリタリ

「バルファア」ノ修正付「ルート」提案ニ對シテハ左ノ三點ヲ除キ其他ハ同意セラレ差支ナシ

(一) 第二項ニ關シ「ルート」ノ埴原全權ニ對スル談話ノ趣旨即チ敵對幫助ヲ與フル一切ノ商船ハ商船ト認メス又封鎖ノ場合ニ他ノ艦艇同様潛水艦ヲ使用シ得ヘキコトヲ明文トシテ追加スルコト

(二) 第三項後段海賊行爲ト看做シ審問處罰スルノ意味ハ中立國カ公海ニ於テ該當潛水艦ヲ拿捕若クハ攻撃シ得ルコ

トヲ含ムモノニ非スト了解スルコト

(三) 第三項末段ハ犯則者カ若シ中立國法域内ニ於テ發見セラレタル場合ニハ其ノ犯罪者ノ所屬國ニ引渡シ該國ヲシテ審問處罰ヲ爲サシムルコトニ修正スルコト

以上(二)及(三)ハ戰時中交戰國ト中立國トノ紛議ヲ惹起シ爲ニ戰爭ノ範圍ヲ擴大スルカ如キコトヲ避ケムトスル趣旨ナルカ若シ他國ニ於テ強ク反對スル場合ニハ前記三點トモ固執セララルニ及ハス

第二節 議事經過ノ概要

議事經過
概要

一、潜水艦ニ關シテハ英國全權ノ全廢主張ニ對シ佛國側カ強硬ニ反對シタル爲遂ニ協定不能ニ終ルヤ十二月二十八日ノ第十回軍備制限總委員會ニ於テ米國全權「ルート」氏ハ潜水艦ノ商船攻撃ニ關スル現在ノ國際法規ヲ確認スルト共ニ將來潜水艦ヲ通商破壞ノ用ニ供スルコトヲ禁止シ且其違反者ヲ海賊ニ準シテ處罰セントスル趣旨ノ協定ヲ先ツ五ヶ年ニ約定シ更ニ他ノ文明諸國ヲモ之ニ參加セシメントスル決議案ヲ提出シ述ヘテ曰ク「大戰ニ依リ吾人ハ二ツノ教訓ヲ得タリ其一ハ從來外交官ノ作成セル此種ノ國際法カ甚タ微力ナルコトヲ明ニシタルコトニテ其ノ二ハ輿論ノ力極メテ偉大ナルコトカ立證セラレタルコトナリ而シテ輿論ノ力ヲ強大ナラシメンカ爲メニハ問題ヲ簡單明瞭ナラシムルコトヲ要ス即チ文明世界ヲ震駭シタル潜水艦問題ヲ田夫野人ニモ亦克ク了解シ得ラルルカ如キ形式ニ取リ纏メントスル所ニ此決議ノ趣旨カ存スル次第ナリ」云々ト斯クテ十二月二十九日、三十日及一月五日、六日ノ四回ノ總委員會ニ於テ引續キ審議ノ結果「ルート」氏ノ原案ハ形式及字句上多少ノ修正ヲ加ヘラレタルモ大體ニ於テ其儘採用セラレタリ

二、毒瓦斯ニ關シテハ陸軍軍備制限問題ヲ審議セル十一月二十三日ノ第二回總委員會ニ於ケル決議ニ基キ同日午後ノ第二回議題及議事進行委員會ニ於テ戰時法規及航空兩分科會ト相併シテ毒瓦斯分科會ヲ設置シ專門の見地ヨリ毒瓦斯使用禁止ノ問題ヲ研究セシメタルニ右分科會ノ報告ハ毒瓦斯禁止ヲ以テ事實上不可能ナリトスル結論ニ達シタリ然ルニ一月六

日ノ第十六回總委員會ニ於テ議長「ヒューズ」氏ハ右毒瓦斯分科會ノ報告ト共ニ毒瓦斯使用禁止ヲ強ク主張セル米國側諸問委員會ノ報告並米國海軍將官會議ノ報告ヲ披露シ次テ米國全權「ルート」氏ハ「ヴェルサイユ」條約第七十一條ノ規定ヲ基礎トシテ後ニ五國條約第五條ニ採用セラレタルカ如キ決議案ヲ提出シ翌一月七日ノ第十七回總委員會ニ於テ異議ナク可決セラレタリ

三、米國全權「ルート」氏カ提議セル前記ノ潜水艦及毒瓦斯ニ關スル決議案ハ其ノ後一括シテ一條約案ノ形式ニ改メラレ二月一日ノ第五回總會議ニ於テ可決セラレ二月六日署名調印ヲ了シタリ

四、航空問題、十一月二十三日午後ノ第二回議題及議事進行委員會ハ航空機ニ關シテモ專門の見地ヨリ研究セシムル爲メ毒瓦斯及戰時法規分科會ト相併シテ航空分科會ヲ設置シ該分科會ハ數回ノ會議ノ後報告書ヲ總委員會議長ニ提出シ「ヒューズ」氏ハ之ヲ一月七日ノ第十七回總委員會ニ披露セリ其結論ヲ要約スレハ

(一) 航空機ノ數及性質ニ付テハ其ノ軍用タルト私用タルトヲ問ハス空氣ヨリ輕キ航空機ヲ除クノ外之ニ對シテ制限ヲ加フルヲ得サルコト

(二) 戰時ニ於ケル航空機ノ使用ニ關シテハ將來ノ會議ニ於テ航空機ニ適應スル戰時法規ヲ定ムヘキコト
ノ二綱目ニシテ總委員會ハ之ヲ承認シタリ

五、戰時法規問題

十一月二十三日午後ノ第二回議題及議事進行委員會ニ於テ毒瓦斯航空分科會ト相並シテ設置セラレタル戰時法規分科會ハ成績觀ルヘキモノナカリシ所一月九日ノ第十八回總委員會ニ於テ航空機使用問題ニ關連シテ最近ノ實驗ニ依リ新式武器ノ爲メ變更ノ必要ヲ見ルニ至レル現行國際法規ニ付キ研究ヲ遂ケシムル目的ヲ以テ新ニ法律家ノ委員會ヲ設クヘシトノ議起リ右決議案ヲ起草委員會ヲシテ起草セシメ之ヲ一月二十七日ノ第十九回總委員會ニテ決議セリ即チ五國ヨリ二名宛ノ代表者ヲ出シテ委員會ヲ設置シ各國ハ華府會議終了後三箇月内ニ右代表者ノ任命ニ付キ米國政府ニ通知スヘキコト